

特集

夜の図書館 … 2

図書館の上手な使い方 館内を探してみようプチ展示 ……	4
あなたのまちの図書館めぐり 浜田市立金城図書館 ……	6
ライトハウスライブラリー ……	7
島根県議会図書室 ……	7
外国語の図書館利用案内が できました ……	8



との縁結び

島根県立図書館報

<http://www.library.pref.shimane.lg.jp>

図書館だより

2017

第207号

2017年11月1日発行



県立図書館 正面入口付近

島根県立図書館イメージキャラクター
ぶつくまくとしおりちゃん



図書館の開館時間は、どこもだいたい朝から夕方までです。島根県立図書館も夜間の開館はしていません。そんな中、夜の図書館を楽しんでもらおうと夜の開館やイベントを開催する図書館があります。今回は、県内の図書館で行われている夜のイベントを紹介します。

いつもの図書館と違う雰囲気を楽しむ

夜の開館

○松江市立中央図書館「よるの図書館」

平成26年12月から始まったという「よるの図書館」。複合施設であるプラバホールのお月見コンサートとクリスマスコンサートに合わせ、年2回、開催されています。キャッチフレーズは「BGMの流れる館内で、飲み物を片手にゆっくりと読書を楽しみませんか?」。21時まで開館を延長して、ホールで販売している飲み物やお菓子を楽しみながら読書をする、一夜かぎりのブックカフェです。一緒にリサイクル市や子ども向けの工作会なども行われます。



6月28日(水)の「よるの図書館」にお邪魔しました。実は図書館の単独開催は初めてとのこと。いつもはコンサートと合同開催なので賑やかなのだそうですが、今回は小泉八雲とアイルランド関係の本の展示に合わせたアイリッシュ音楽が流れ、しっとりした大人の雰囲気です。隣の喫茶店が図書館の本を見て作られたお菓子と飲み物をいただきながら、ゆったりと過ごすことができました。今回は子ども向けの工作会はありませんでしたが、親子連れのお客さまの姿もたくさん見られるのは、市民の方にこの「よるの図書館」が浸透している証かもしれません。

○隠岐の島町図書館「よるとしよ」

年3～4回、21時まで開館を延長する夜の図書館「よるとしよ」。平成25年から始まり、今年度も3回実施予定です。

当日は、雑誌コーナー周辺では飲み物コーナー「としよカフェ」と、毎回1～2つ、イベントも行います。過去のイベント内容は、バイオリンやサクソなどの演奏会、フリーマーケット、子どもの工作会、DVD上映会など多種多彩。館内はジャズなどのBGMをいつもより大きめに流し、イベント感を出しています。飲み物コーナーはぎゅうぎゅうで、いつもの図書館の雰囲気とは違って賑やか。コミュニケーションの場にもなっているそうです。



その他、島前の海士町中央図書館では毎月第2・4土曜日に17時～21時まで夜間開館を実施しており、第4土曜日には「ブックサロン」という本の交流イベントも開催しています。また西ノ島町立中央公民館図書室では月1回、「よるのブックカフェ」と称して18時～21時まで図書室や和室、展示ホールも開放していて、利用者は飲み物を片手に読書を楽しんでいるそうです。

子どもたちがお気に入りのぬいぐるみを図書館に預け、翌日お迎えに来るという「ぬいぐるみお泊まり会」。最近人気のイベントです。ぬいぐるみは子どもたちが帰った後、夜の図書館で本を読んだり遊んだりします。その様子を撮った写真を迎えに来た子どもたちにプレゼントしたり、ぬいぐるみが選んだ絵本を子どもたちが借りていったりします。

○**邑南町立図書館**

邑南町立図書館では、本館と石見分館・羽須美分館と、毎年交互に開催しています。子どもたちはぬいぐるみと一緒に職員やボランティアグループによるおはなしを聞いた後、ぬいぐるみたちを置いて帰り、ぬいぐるみたちは図書館で夜を過ごすのです。6回目となる今年は、11月26日の読書フェスティバルに合わせて、本館で開催予定だそうです。



○**大田市立仁摩図書館**

仁摩図書館のぬいぐるみのお泊まり会は、ちょっと期間が長いです。秋に募集して預かったぬいぐるみたちは、しばらく図書館でお泊まり。その間に職員が写真を撮ったりメッセージカードを用意します。そしてクリスマスおはなし会のときに、ぬいぐるみたちは写真とメッセージカード、選んだ2冊の絵本を携えて、子どもたちのもとに帰ってくるのです。平成26年に始まったお泊まり会、今年も秋から冬にかけて開催予定だそうです。

夜に聞くお話はいつもと違ってどきどき!

夜の おはなし会

○**出雲市立ひかわ図書館「夏の夜のおはなし会」**

年に1回、2つのボランティアグループにより行われる夏の夜のおはなし会。平成25年に始まりました。内容は、ちょっと怖いお話など夏の夜にちなんだストーリーテリングです。照明を暗くした中、子どもたちは絨毯に座って真剣に聞いているそうです。

出雲市では他に、佐田図書館で平成25年から年1回、ストーリーテリングの「夏の夜のおはなし会」を行っています。また海辺の多伎図書館でも年1回夏に、ぬいぐるみお泊まり会と一緒に夜のおはなし会をしていて、今年で4回目だそうです。



その他にも、浜田市立中央図書館では、ボランティアの方の協力で「星空観察会」を行っています。観察前には図書館の本を使って、クイズや星空を調べたりするそうです。

関連図書紹介

『ぬいぐるみおとまりかい』

風木一人／作
岡田千晶／絵
岩崎書店 2014年
図書館に大好きなぬいぐるみ
を連れた子どもたちがやって
きました。何が始まるのかな？



『よるのとしょかんだいぼうけん』

村中李衣／作
北村裕花／絵
BL出版 2015年
ぬいぐるみのおとまり会に
やってきたくまきちたち。真夜中、
本の住人たちが出てきて…!?



館内をさがしてみよう！

県立図書館では、館内のいくつかの場所に、季節を感じさせる本、いまが旬のテーマの本などを集めて展示しています。

これらを「プチ展示」と名付けました。(正式名称はありません。)

プチ展示は、だいたいいつも同じ場所にありますが、品揃えは月ごと、季節ごとに変わります。

まずは、館内のあちこちを見てまわってみましょう。

プチ展示を見かけたら、ちょっと立ち止まってながめてみてください。思いがけず、素敵な本に出会えるかもしれません。

さらには、その本をきっかけに、新たな世界が広がるかも…。



一般向け



① 「職員おすすめの本」は、島根日日新聞で紹介した新刊図書です。



② 毎月内容を変えています。7月のテーマは、「怖い話」「将棋」でした。



③④ 内容は不定期に変わります。7月のテーマは、「日本語」、島根県立美術館企画展「小茂田青樹」でした。



メイン展示 —— 島根県からのPR展示 ——

図書館1階のホールでは、島根県各課が政策や事業を県民の皆様へお知らせする展示をしています。内容は毎月変わります。写真やポスターを多用したビジュアルな展示です。関連する資料も展示しています。

ホール以外でも、時計下、階段下、2階回廊、などの場所を活用して、展示をしています。

展示にあわせて、講演会やイベントを開催することもあります。ホームページやカウンターで配布する行事予定をチェックしてください。



⑪ 図書館入口正面のホール展示。7月は、宍道湖自然館ゴビウスによる展示。メダカ観察の体験イベントもありました。



子ども室



⑤7月は、「2017年度おすすめしたいこどもの本」をできたばかりのリストと一しょに展示していました。



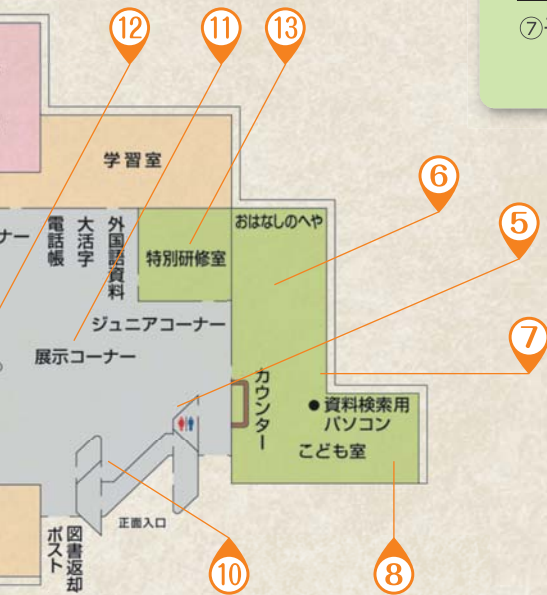
⑥7月のテーマは、「ヒロシマ・ナガサキの原爆を考える本」でした。



⑦子ども室の新作図書。



⑧バリアフリー図書を集めています。耳で聞く本、手でさわる本など。



各種パンフレットも充実

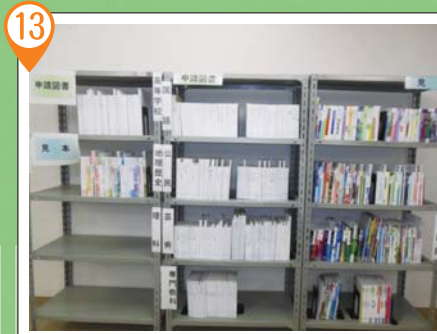


⑨ビジネス支援関連パンフレット
⑨ビジネス支援関連団体のセミナー、スキルアップ、相談会などの案内です。



⑩観光パンフレット
⑩県内各地の観光パンフレットを揃えています。

⑫時計下の展示。7月は、県人権同和対策課による、差別をなくす強調月間に関する展示でした。



⑬特別研修室での展示。7月は、文部科学省による教科書展示をしていました。

あなたのまちの図書館めぐり

島根県立図書館の職員は、県内市町村の図書館などを各館年2～3回訪問して、スタッフの方に直接お会いして情報交換を行っています。その地域の特徴や暮らす人々を知り、島根県の図書館全体が活性化するように、ネットワークづくりに努めています。

浜田市立金城図書館

「ただいま」の音が響く図書館

雲城小学校のすぐそばにある、浜田市役所金城支所の1階に金城図書館があります。2016年の3月に、今の場所に移転してきました。館内は低めの本棚が多く、広々としています。絵本のスペースには畳が敷かれ、ゆっくりと本を読めるようになっています。また、学習用の机や、大人向けの図書が置かれた書架の奥にあるテーブルなど、静かに集中して学習や読書ができる場所も用意されています。図書館の一角を占める157冊の大型絵本は、浜田市内で一番の所蔵量を誇っており、読み聞かせボランティアや学校司書が借りて行く以外にも、小学校の授業で高学年の子ども達が低学年の子ども達に読み聞かせをするために使われたそうです。



壁を見ると、彩り鮮やかな、たくさんの折り紙が飾られています。その一つ一つが、職員の手作りということなのです。この職員は、図書館の定例行事である、折り紙教室の講師を務めています。見せてもらった写真からも、子どもたちが熱心に折り紙に取り組み、思い通りの作品が出来て満足そうな様子が伝わってきました。



昼間は落ち着いた雰囲気金城図書館ですが、夕方になると、小学校帰り子ども達がやって来て賑やかになります。中には「ただいま」と言いながら入ってくる子もいるということです。子ども達にとって、この図書館は家のように居心地のいい場所なのでしょう。

より多くの人に金城図書館を知ってもらうために、町内全戸に図書館だよりを配布しています。また、秋に行われる金城町のお祭り「さざんか祭り」でも、本の展示やボランティアによるパネルシアター等を行う「でまえ図書館」を開催しています。



子ども達の居場所であると共に、より多くの町民に親しまれる図書館を目指して、金城図書館は今日も頑張っています。

【浜田市立金城図書館】

開館時間：9時～17時
休館日：毎週月曜日・年末年始・月末整理日
貸出等：浜田市内全館で図書・雑誌・AV資料
合わせて10冊まで
(視聴覚資料はそのうち2点まで)
貸出期間：2週間



視覚障がい者情報提供施設

ライトハウスライブラリー「暮らしを豊かにする図書館」



ライトハウスライブラリーは、目の不自由な方の暮らしを広くサポートしている施設です。そのサービスの1つとして、図書の貸出を含む情報提供サービスを行なっています。

貸出資料は点字図書・デージー図書(※1)・テープ図書で、蔵書数は1万2千9百タイトル(※2)。新刊を含む視覚障がい者への図書のほとんどをボランティアが製作しています。自館資料だけでは選べる本が限られるため、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」(※3)に加盟している全国の参加館から資料を借りて選択肢を広げています。また、たとえ1人でも読みたい雑誌等の要望があれば、点訳・音訳し

て情報が新鮮なうちに利用者へ届けるよう心がけています。

借りる図書選びを職員に任せている利用者が多いのですが、あえてジャンルを絞らずに様々な本を選んで送っています。これは、世界を狭めずに新しい本との出会いに繋がればという思いで行っているそうです。目が不自由ななかで何とかして本を読みたいという利用者の相談に応えたり、読書を楽しみにしている人達に本を届けられることに喜びとやり甲斐を感じていると担当者は笑顔で教えてくれました。

ライトハウスライブラリーでは、点訳・音訳のボランティア養成講座を毎年行っています。興味のある方は、一度訪ねてみてはいかがでしょうか。

※1 視覚障がい者向けデジタル録音図書

※2 平成28年度末所蔵で種別の異なる同一タイトルを含む

※3 視覚障がい者や目で文字を読むことが困難な人に対して、さまざまな情報を点字、音声データなどで提供している。

【ライトハウスライブラリー】

利用対象：目が不自由な方

開館時間：9時～17時

休館日：毎週土曜日、祝日、毎月最終木曜日、年末年始

貸出：1回に5タイトル程度、期間は点字図書1カ月、その他2週間
その他：目の不自由な方への図書等の郵送料は無料



島根県議会図書室「議員を情報で支える図書室」

島根県議会図書室は、松江城のお膝元にある島根県庁本庁舎・議会棟内にあります。議員の調査研究に役立つため設置された図書室で、蔵書冊数は約1万1千冊※。蔵書の半数が政治や経済、教育など社会関係の本が占めているのが特徴的です。議会期間中は議員の目にとまるよう図書室入口前の廊下に新刊図書の棚を置いています。

日頃から調査業務に役立つ情報収集に努めており、政務調査課と一緒に新聞8紙に目を通し、島根県に関する大きな話題や調査に必要な記事を切り抜いています。新聞の切り抜きは昭和60年から続けており、月毎に県の部局名で分けた封筒に入れて管理しています。議員からの問い合わせで資料を探す際、この切り抜きが足がかりとして役立つそうです。

図書室の蔵書だけでは十分な資料提供が難しいため、近くの県立図書館へ出掛けて調査をしたり、資料を借りることもあります。こうして探し出した資料を渡した後、提供した資料が参考になったと議員に言われた時が一番の喜びになっているそうです。議員を情報で支える議会図書室の影の努力を覗かせてもらいました。

※平成28年度末の所蔵数



外国語の図書館利用案内ができました!

図書館利用案内の英語版“Library Usage Guide”、中国語版“使用指南”、ハングル版“이용안내”、ロシア語版“Правила пользования”を作成しました。海外からお越しの方にも図書館を利用していただけるように、館内マップや貸出方法を各言語で案内しています。

貸出カウンターに用意していますので、図書館を利用されるお知り合いの方がおられましたら、ぜひ紹介してください。

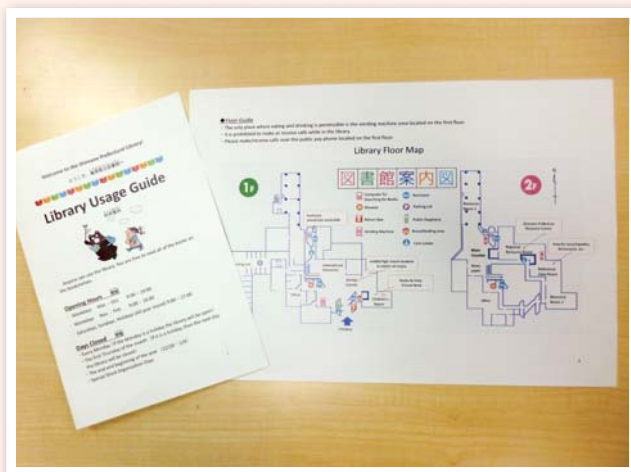
また、当館ホームページでも各言語にて利用案内をご覧いただけます。

島根県立図書館ホームページトップ画面 ⇒

「島根県立図書館」緑色ロゴの上 ⇒

▼English ▼Chinese ▼Korean ▼Russian をクリック

県立図書館では外国語で書かれた絵本や小説などを1階ホールに置いています。どなたでも利用することができるので、これを機に県立図書館へ来てみませんか。



特別整理休館のお知らせ

島根県立図書館は、下記のとおり長期休館を予定しています。ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。

休館期間：平成29年11月20日(月)～平成29年11月30日(木)

(月曜日の通常休館を含んでいます)

休館理由：蔵書点検のため

I N F O R M A T I O N

島根県立図書館 利用案内

- 開館時間／火～金 9時～19時(3月～10月)
9時～18時(11月～2月)
土日・祝日 9時～17時(通年)
 - 休館日／毎週月曜日(祝日の時は開館)
第1木曜日、年末年始、特別整理休館
- ※詳しくは開館カレンダーをご覧ください。

〒690-0873 島根県松江市内中原町52
TEL. 0852-22-5733(図書) / 5725(事務)
FAX. 0852-22-5728
ホームページ <http://www.library.pref.shimane.lg.jp/>

人と人の縁結び 図書館だより は、本を読む楽しみを味わえるビジュアル情報誌です。
しまねの、本・人・図書館にまつわる話題をお届けします。
皆さんの「本のある暮らし」を応援します。

島根県立図書館報
図書館だより 第207号
平成29年11月1日発行
編集・発行／島根県立図書館



島根県立図書館イメージキャラクター
ぶっくまくとしおりちゃん